



奨 励 賞



①

洲原公園の将来像

自然とともに遊んで学べる！
SUHARA アウトドア・パーク

洲原公園の未来

- 1) 自然の中で遊びを創造し、人とつながり心と体の成長が促されます。
- 2) 豊かな自然に囲まれてゆったり向き合える時間を過ごせます。
- 3) 大学や地域とのコラボにより、楽しみながら学べる機会が得られます。



⑤

- ① 幅広い世代・所属で構成された『市民公園づくり会議』
- ② 一人ひとつの公園を専任し12グループに分かれて議論
- ③ 公園とともにあるライフスタイルから公園を考える
- ④ 会議メンバー自らが公園に出向いてアンケートを実施
- ⑤ 市民の考える公園の将来像は言葉とイラストで表現



②



③



④

新しい市民参加手法による魅力あふれる公園づくり構想

株式会社オオバ

小林高浩・丸山 昇・木村晃一・堀田旭宏・小林毅美・松岡史展・大矢周平

地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて、刈谷市内の公園のうち、各地域の顔である都市基幹公園クラスの5つの公園を対象に、市民が本当に望む公園の将来像を描く構想づくりを行った業務である。様々な視点で公園を考えるテーマを設定し、地域全体の視点に立って意見交換を行うなど、市民が自ら学び考えるワークショップ・プログラムを本プロジェクト推進の柱に据えて、72名の参加者が集う「市民公園づくり会議」で構想づくりに取り組み、そのプロセスでは市民意見の代表性と中立性を求めた市民参加手法を模索して実践した。

現在、市民も主体的に関わる新しい官民連携手法によって公園の魅力向上や利活用促進を図るという、新たなエリアマネジメントの仕組みに基づいて「魅力あふれる公園づくり事業」が進められており、推進委員会に市民公園づくり会議メンバーが多数加わっている。市民が思い描く魅力あふれる公園の誕生を期待したい。

作品概要

作品名—— 新しい市民参加手法による魅力あふれる公園づくり構想

所在地—— 愛知県刈谷市

市内5公園(洲原公園、岩ヶ池公園、刈谷市総合運動公園、亀城公園、フローラルガーデンよさみ)

発注—— 刈谷市 都市政策部公園緑地課(現 都市公園部公園整備課)

事業目的—— 刈谷市内の5公園を対象に、誰もが行きたくなくなるような魅力あふれる公園とするため、市民意見を取り入れた「公園づくり構想」の策定を行う。

策定体制—— 市民公園づくり会議(地域住民や各種団体、中学生、大学生、公募市民) 構想策定委員会(学識経験者、各種団体・事業者の代表、関係機関職員) 事務局(刈谷市公園緑地課・スポーツ課、株式会社オオバ)

計画—— 株式会社オオバ(企画・運営、構想策定、PR動画作成)

計画期間—— 2021年7月～2023年9月

規模—— 対象公園面積 5公園合計(112.4ha)

作品評

本作品は刈谷市において5つの公園を魅力あふれる公園とすることを目的として、『魅力あふれる公園づくり構想』を策定する業務である。業務実施にあたって、『魅力あふれる公園づくり構想策定委員会』、『市民公園づくり会議(ワークショップ)』が組織され、応募者は事務局を務めて事業の企画・運営を担当した。委託者からは今後の中長期的な公園政策に反映するため、市を代表する5つの公園の10年後、20年後の将来像を市民とともに描くことが求められ、6回のワークショップを開催して5つの公園の将来構想をとりまとめた。応募者は市民に広く伝わるように構想の成果をPRする動画を作成した。構想策定後、『魅力あふれる公園づくり推進委員会』が設置され、官民連携による構想実現に向けた取り組みが進行している。構想策定の過程において市民が積極的にかかわり、『多様な主体の参画による緑のまちづくり』を実現するための「入づくり」がなされた。公園づくりを通じた新たなエリアマネジメントの仕組みづくりに取り組んだ業績は高く評価され奨励賞となった。